3章 バリアフリーに関する現況と課題

3-1 現地点検結果

3-1-1 調査概要

河合町バリアフリー基本構想策定協議会では、生活関連経路や生活関連施設等を、 協議会で現地点検(まち歩き)を実施し、課題や現況の把握を行いました。

以下に、現地点検(まち歩き)の概要を示す。

場所:奈良県北葛城郡河合町

会 場:河合町役場 3階 第6会議室

日 時: 平成24年10月3日(水) 午後1時30分から午後4時まで

参加者:協議会委員、高齢者等団体、事務局等 計46名

調查場所:近畿日本鉄道 田原本線 大輪田駅周辺

(同上) 佐味田川駅周辺

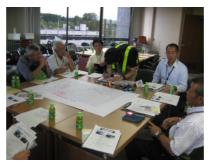
(同上) 池部駅周辺













現地点検コース

【大輪田駅グループ】

- ①役場→大輪田駅→西大和保育園→西大和星和台郵便局→南都銀行西大和支店→役 場出張所→西大和地区公民館
- ②役場→大輪田駅→イオン西大和店→西大和地区公民館

【佐味田川駅グループ】

- ①役場→佐味田川駅→万代河合町店→第三小学校→文化会館・図書館
- ②役場→佐味田川駅→ユニクロ西大和店→第三小学校→文化会館・図書館

【池部駅グループ】

- ①役場→池部駅→保健・障害福祉センター→第一小学校・第一中学校→町立体育館・中央公民 館
- ②役場→保健・障害福祉センター→第一小学校・第一中学校→町立体育館・中央公 民館

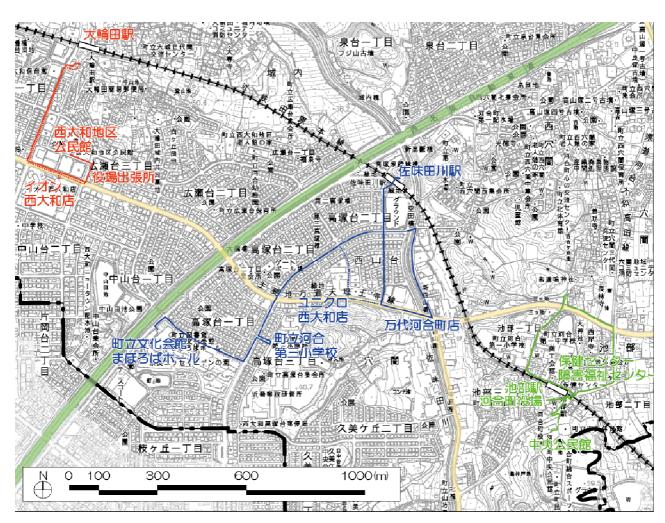


図 現地点検コース及び調査施設

3-1-2 調査結果

調査時に、参加者から出された施設や道路における、バリアフリーに関する問題 点を以下に示します。

(1) 鉄道駅

箇所	問題点	状況	施設
アプローチ	・歩車共存のアプローチと なっている。⇒ 利用者の安全確保に問題 がある。		大輪田駅
	・ 改札までに段差がある。・ 階段を上らないと、改札まで行けない。⇒ 車椅子利用者や高齢者が円滑に利用できない。		大輪田駅、佐味田川駅
	・ 券売機の位置が高い。⇒ 車椅子利用者の利用が困 難。		大輪田駅、佐味田川駅
改札	車椅子用の改札はあるが、 扉の開閉を行わないといけない。 車椅子利用者の円滑な移動の妨げになる。	6	大輪田駅、佐味田川駅
	・ I C O C A 用の改札機が 出入りの邪魔をしている。⇒ <i>円滑な移動の妨げとなる。</i>	DE PARE DE LA CONTRACTION DE L	池部駅

駅構内の移動	・階段のみ(昇降機が設置されていない)。⇒ 高齢者や車椅子利用者の 円滑な移動の妨げに繋がる。		大輪田駅、佐味田川駅
駅構内のトイレ	・多目的トイレ及び洋式トイレが設置されていない。⇒ トイレが無いことにより、移動を控えられる可能性が考えられる。		大輪田駅、佐味田川駅
案内	・ 音声や表示による列車案内が無い。・ 行き先の文字が小さい。⇒ 乗車間違いなどの可能性がある。	AS SECTION AS A SE	大輪田駅、佐味田川駅、 池部駅
案内及び警告	 ・ 列車接近案内や緊急時の設備が無い。 ・ 線路側を示す点字ブロックが認識できない。 ⇒ 視覚及び聴覚障がい者の安全確保ができない可能性がある。 		大輪田駅、佐味田川駅、 池部駅

(2)公共施設

	A) Nicia				
箇所	問題点	状況	施設		
アプローチ	・スロープが無い。又はスロープがついていても、移動が困難である。⇒ 車椅子利用者の円滑な移動の妨げに繋がる。		河合町役場、西大和地区 公民館		
	・ アプローチが急勾配かつ 歩きにくい仕様となって いる。⇒ 安全な移動の妨げにな る。		河合町役場		

	・ 手すりがついていても、使いにくい。⇒ 誰しもが使用しやすいデザインとなっていない。		河合町役場
	・ 道路境に段差がある。⇒ 高齢者が使用する際につまずく可能性がある。	河合町 ¹ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	河合町役場
	・ 点字ブロックが無い。⇒ 円滑な移動の妨げになる。		役場出張所、中央公民館
出入口	・ 自動扉でない。また開閉に 力がいる。⇒ 高齢者や車椅子利用者等 において、移動の妨げに なる。	河合町役場 出頭所	役場出張所、中央公民館
	・ 点字ブロックが無い。 ⇒ 視覚障がい者の利用の妨 /ずになる。		役場出張所、中央公民館
案内	 施設内の案内看板が設置されていない。 ⇒ トイレの位置がわかりづらく、利用を控えられる可能性が考えられる。 		町立文化会館まほろばホール

施設内	・ 点字ブロックが無い。⇒ 視覚障がい者の円滑な移動の妨げになる。	町立文化会館まほろばホール
トイレ	 ・ 多目的トイレが無い。多目的トイレがあっても使用しづらい。 ・ トイレ内に段差がある。 ・ トイレの戸が閉まりにくい。 ⇒ トイレが使用しづらいことにより、利用を控えられる可能性が考えられる。 	西大和地区公民館、中央公民館
异降	・ エレベーターが無い。・ 階段に点字ブロックが無い。→ 視覚障がい者の円滑な移動の妨げになる。	西大和地区公民館
駐車場	・ 車椅子対応駐車場が無い。 ⇒ 車椅子利用者の利用の妨 げになる。	西大和地区公民館

(3) 商業施設

箇所	問題点	状況	施設
アプローチ	・ 点字ブロックはあるが、商品が置かれている。・ 点字ブロックが無い。⇒ 視覚障がい者の円滑な移動の妨げになる。		万代河合町店、イオン西 大和店

駐車場	・ 駐車場との間に段差がある。 ⇒ 車椅子利用者や高齢者の自立的な利用の妨げになる。	イオン西大和店
トイレ	 ・トイレまでのアプローチが狭い。 ・多目的トイレの点字が無い。 ⇒ トイレが使用しづらいことにより、利用を控えられる可能性が考えられる。 	ユニクロ西大和店、イオ ン西大和店
异降	・ エレベーターの音声装置が無い。⇒ 視覚障がい者の移動の妨けになる。	イオン西大和店
	・階段の点字ブロックが無い。→ 視覚障がい者の移動の妨けである。	イオン西大和店

(4) 福祉施設

箇所	問題点	状況	施設
アプローチ	 ・ 急勾配である。 ⇒ 車椅子利用者や高齢者の 円滑な利用の妨げに繋 がる。 		保健センター・障害福祉センター

	・側溝のグレーチングの目 地が大きい。⇒ 杖等が目地に入る可能性 がある。	保健センター・障害福祉センター
トイレ	 ・ 多目的トイレの蛇口が使いにくい ・ トイレ洗浄ボタンが使用しづらい位置にある。 ・ 非常用ブザーが無い。 ・ 荷物を置く棚が無い。 ⇒ トイレが使用しづらいことにより、利用を控えられる可能性が考えられ 	保健センター・障害福祉センター

(5)教育機関

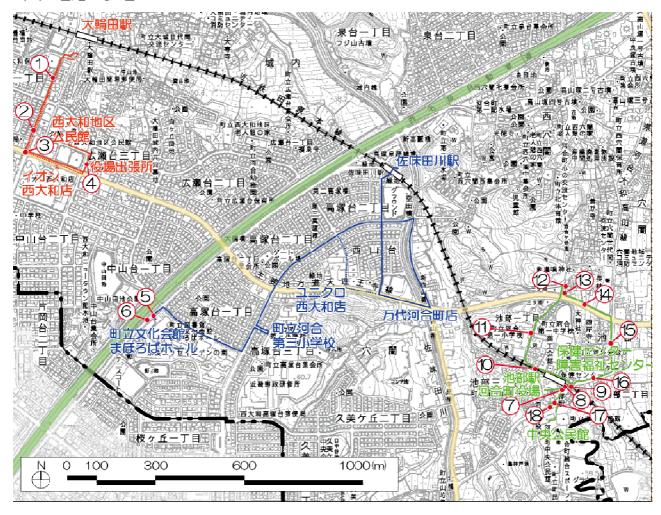
る。

箇所	問題点	状況	施設
アプローチ	・ 門扉に段差がある。 ⇒ 車椅子利用者や高齢者の 安全な移動に問題がある。		第三小学校
	通路が狭い。車椅子では、 使用しにくい。⇒ 車椅子利用者での円滑な 利用が困難になってい る。		第一小学校
	・ 玄関までの勾配がきつい・ 運動場には車椅子では降りられない。⇒ 車椅子利用者での円滑な移動の妨げとなる。		第三小学校

(6) 金融機関等

箇所	問題点	状況	施設
出入口	・出入口が階段のみであり、かつ狭い。⇒ 車椅子利用者や高齢者の円滑な移動の妨げとなる。		西大和星和台郵便局

(7) 道路・歩道



問題点		状況	箇所
勾 ・ 勾配がきつい配 → 円滑な移動段 き	かの妨げにな		7. 13. 14

	・線路方向に勾配がある。⇒ 安全の確保において問題がある。	8
	・ 横断勾配がきつい。⇒ 車椅子での円滑な移動 の妨げになる。	1, 12
	 ・ 段差がある。 ・ インターロッキング舗装部に段差があるものがある。 ⇒ 車椅子での円滑な移動の阻害、高齢者等のつまずきに繋がる。 	© 、 15
歩道・横断歩道	 ・歩道が狭い。 ⇒ 車椅子同士の相互通行ができない。また、車椅子が通る場合、歩行者は車道に出ないと行けない。 	16
	・ 歩道が無く、道路幅員が 狭い区間がある。 ⇒ 自動車が通る際に、歩 行者の安全が確保でき ない。	10
	・植栽桝が障害となっている。⇒ 車椅子での円滑な移動を妨げる。	2

	・側溝に蓋が無いところがある。⇒ 側溝に蓋をすれば、歩道が広がる。		4
	・ 横断歩道が無い。⇒ 円滑な移動の妨げになる。		
その他	・ 道路乗り入れ部からの 点字ブロックが整備されていない。⇒ <i>障がい者が利用する場合、駐車場にて降車させる必要がある。</i>		⑤
	・信号の切り替わる時間が短い。⇒ 移動に関して安全性が確保できない。	ACONBINE OF THE PARTY OF THE PA	③

3-2 交通事業者ヒアリング結果

3-2-1 調査概要

下記の日程に、事務局が交通事業者3社へヒアリング調査を実施した。

平成24年11月29日 バス事業者(奈良交通株式会社)

平成 24 年 11 月 30 日 鉄道事業者(近畿日本鉄道株式会社)

平成24年12月 7日 タクシー事業者(王寺タクシー株式会社)

3-2-2 調査結果

(1) バス事業者

①バス停における今後のバリアフリーについて

乗降客数の多い箇所を重点的に整備しており、上屋の設置については、駅へ向かう 方には設置されている。

②運行している車両について

河合町を運行している車両の台数は、26 台(他町への運行分も含む)で、そのうちバリアフリーに対応している車両は8台(ノンステップバス)。平成22年以降は、車両入替え時にノンステップバスを導入している。

③障がい者や高齢者のサポートについて

乗降時には運転者ができる限りサポートしている。障がい者への情報提供については、ホワイトボード等の利用や法律に適合した内容で対応している。

④バリアフリーに関する教育や訓練について

毎年講習を実施している。

⑤河合町におけるバリアフリーに関する問題点

バスの乗降時にノンステップバス(ワンステップバス)を車両入替え時に導入しているが、奈良県や河合町の歩車道分離ブロックが高すぎる(15.0cmが望ましい。)ため、以下の問題がある。

ノンステップバスでは歩道に横付けできないので、乗客に一旦車道部に降りていた だくことになる。

無理に歩道に近づけると乗降時にブロックが段差となり危険、しかも車両を破損する恐れもある。

(2) 鉄道事業者

①施設での障がい者等への対応について

河合町内の3駅(大輪田駅、佐味田川駅、池部駅)は、全て無人駅であるため、障がい者等が施設を利用する場合は、職員が所在する駅に乗降する駅名や、日時の連絡をいただく。職員は、利用される駅に向かい対応する。事前連絡が無い場合は、その場で職員が到着するまで待っていただく。

最近は当該箇所での車椅子利用者からの依頼は無い。ご利用される場合は、駅係員 2~3名で車椅子を持ち上げて昇降する。基本は、駅の改札内での対応となるが、現 実的には、佐味田川駅の構外連絡橋(町管理)の階段も含めて対応する。

②今後、バリアフリー化に関する整備予定

3駅とも、国が定める「移動等円滑化の促進に関する基本方針」である 3000 人/ 日以上に達していないため、整備する予定は無い。なお、大輪田駅は平成 22 年乗降 者数が 2900 人/日と、基準まで僅かであった。

また、田原本線全駅において近接放送を実施しておらず、また設置予定も無い。

③車両の障がい者等への対応について

河合町を運行している車両の台数は 21 車両(3 台×7 編成)であり、バリアフリー化の基準全てに対応した車両は無い。また、点検や予備等のため実際に1日運行している車両数とは異なる。なお、安全の確保の面から車両連結部の転落防止のための幌(ほろ)は、設置している。

④障がい者等の乗降の対応について

車椅子の場合は、渡し板にて対応している。なお、あらかじめ利用日時を連絡していただく必要がある。

⑤バリアフリーに関する教育や訓練等について

毎年、新任助役を対象に外部講師によるサービス介助士の教育や、各職場にて障がい者に対する接遇の教育を実施している。

⑥バリアフリー化を推進するための課題について

近鉄の他駅において3000人/日以上でバリアフリー化未整備が約50駅あるため、3000人/日以下の河合町3駅の優先順位は低い。

また、車両の対応は、新造車両や大規模リニューアルに併せて対応している。なお、 車両の耐用年数は約50年であるため、すぐに対応は難しい。

(3) タクシー事業者

①町内を運行している車両について

21台で他町にまたがり運行している。バリアフリー化した車両や福祉タクシーは、所有していない。

②障がい者や高齢者に対するサポートについて

障がいを有している利用者については、乗降時に介助を行う(例えば、車椅子は折りたたんでトランクへ)。予約や行先等については FAX や筆談で対応している。

③今後取り組むべきバリアフリー化について

ユニバーサルデザイン車両の検討を進めている。香芝市のイムラタクシーは、奈良 県内で唯一 1 台所有している。

④バリアフリーに関する教育や訓練

実施している。

⑤重点整備地区について

特に意見は無いが、タクシー事業者としては、改札前から段差なしに乗客を乗せられることが望ましいと考えている。